

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年 7月24日

施設名	のいち動物公園	所管課室	土木部公園下水道課
-----	---------	------	-----------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 のいち動物公園協会	指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成21年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収 2. 公園の施設及び物品の維持管理 3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施		
施設内容	面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 【公園全体】 面積: 19.9ha 開館時間: 9:30 ~ 17:00 休園日: 月曜日、12月27日 ~ 1月1日 入園料: 大人450円(年間1,500円)高校生以下無料		
職員体制	プロパー職員: 24名、県派遣職員: 2名、嘱託・非常勤職員: 5名、臨時職員: 10名 合計: 41名		

2 収支の状況

単位:円

		18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	324,140,851	332,550,000
	使用料・手数料	29,463,750	32,980,000
	その他	1,014,553	386,000
	収入計 (a)	354,619,154	365,916,000
支出	事業費	0	0
	管理運営費	163,767,679	169,856,000
	人件費	190,851,475	196,060,000
	その他	0	0
	支出計 (b)	354,619,154	365,916,000

3 利用状況

	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(目標)
年間利用者数(単位:人)	169,079	151,565	170,000
利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 時期:平成19年1月2～5日 対象者:一般入園者及びサポーター会員 回答数:335人 調査結果:年に数回来園するリピーターが多い、幼児が遊べる遊具の導入、売店やレストランメニューの充実、動物の行動展示、新しい展示動物(ゾウ、ライオン)、餌やりへの参加等 結果については、将来計画の策定に活かしていく予定。		
	その他 来園者の利用満足度の向上のために、動物の特性を生かした展示内容や展示設備の設置に取り組んでいる。		

4 平成18年度業務評価

項 目	状 況 説 明
適正な管理運営の確保	概ね事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていた。動物の飼育と展示では、新規動物の導入や、来園者が生き生きとした動物の姿を間近で見られるように飼育や展示方法の工夫を行い動物公園の魅力を伝えている。 「友の会」や「のいち動物公園ボランティアズ」と連携し、のいち動物公園の活動を理解し、情報発信やモニター的役割を担ってもらう取り組みを行っている。また、イベント開催時の協力や、ボランティアズ主催のイベントも開催している。
利用者サービスの維持向上	動物の特性を生かした飼育や展示方法の工夫が見られ、来園者がいきいきとした動物の姿を間近で見学できるように努めている。 教育の場として、動物のふれあい教室やサンデースクール、職場体験や実習の受け入れ等、動物公園ならではの体験学習の場を提供している。 ボランティアの協力も得ながら、年間を通じて26回のイベントの企画、8回の月間定例企画、7回の展示企画を開催したり、近隣の観光施設と連携して、割引やイベント等来園者サービスの向上を図っている。
利用実績	来園者は前年度実績の90%弱にとどまったが、年間入園券は昨年を上回る販売実績がみられ、イベントを増やしリピーターを広げる努力が見られる。 また、近隣の観光施設や観光団体と連携した利用促進の取り組みも行っている。
収支の状況	清算時に管理代行料の減額があり、予算について精査が必要と思われる。
総合評価	協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されるとともに、利用促進のためのサービス向上にも取り組んでおり、適正な管理運営がされたと認められる。 B 来園者の利用満足度の向上にイベントの開催や情報発信に努力が見られるが、同協会は指定管理者制度の導入前から管理委託を行っており、今後は指定管理者として、民間の感覚を取り入れた組織及び運営の合理化、経費の節減に取り組む必要があると思われる。

(評価の目安)

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの